

2020年度（令和2年度）理事役員名簿

会 長	工 義尚		
副 会 長	菅村 定昌	松本 修二	
事務局長	鈴木 武		
(事務局)	武田 義明	繁戸 克彦	奈島 弘明
	山下 明良		
事業部長	石川 正樹		
(兵庫生物ニュース担当)	高田 崇正		
(臨海実習担当)	石川 正樹		
(自然観察会検討)	鈴木 武	石川 正樹	
	菅村 定昌		
(HP担当)	松本 誠司	荒柴 博一	
(生物ハンドブック担当)	植田 好人	繁戸 克彦	
編集部長	稲葉 浩介		
(『兵庫生物』編集委員)			
	石川 正樹	工 義尚	梶原 洋一
	武田 義明	岡本 圭史	
会 計	谷本 卓弥	山中 俊子	
会計監査	深水 正和	田井 彰人	
選挙管理委員	永吉 照人	奈島 弘明	
支 部 長 (神戸)	深水 正和	(阪神) 北方 英二	
	(東播) 北村 健	(西播) 久後 地平	
	(但馬) 菅村 定昌	(丹有) 田井 彰人	
	(淡路) 活動休止		
支部選出理事			
(神戸)	深水 正和	矢頭 卓児	
(阪神)	北方 英二	石井 教寿	
(東播)	北村 健	梶原 洋一	
(西播)	久後 地平	田村 統	
(但馬)	菅村 定昌	上田 尚志	
(丹有)	田井 彰人	谷本 卓弥	
地域自然定点調査支部委員	(神戸) 深水 正和		
	(阪神) 谷 良夫	(東播) 西口 龍平	
	(西播) 吉田 孝	(但馬) 上田 尚志	
	(丹有) 田井 彰人	(淡路) 活動休止	
顧 問	上中 一雄	小嶋 良平	小林 拓郎
	洪野 龍二	清水美重子	当津 隆
	永吉 照人	東 敏男	樋口 清一
	福原陽一郎	古田 昌	真野 育三
	森本 義信		

2019年度兵庫県生物学会研究発表会 高校生私の科学研究発表会 報告

日時：2019年11月23日（土・祝）10:00～16:30

場所：神戸大学百年記念館六甲ホール（六甲台第2キャンパス）

参加者数：162名（神戸大学サイエンスショップ調べ）
（内訳）

生物学会会員 11名（高校教員は除く）

高校教員 23名

高校生 110名

大学関係者 15名（うち学生8名）

その他 3名

参加団体数は14（うち高校13校）で、府県別では兵庫県9校、京都府1校、岡山県2校、愛知県1校でした。

プログラム：

1. 兵庫県生物学会 会長挨拶

会長 内藤 親彦

2. 兵庫県生物学会会員発表

口頭発表

(1) 姫路市福泊海岸での海浜植物相の変遷

久後地平（兵庫県立香寺高等学校）

(2) TCS 2019 Hong Kong 大会の参加・発表報告と

日本固有亜種ミナミスマエビの岡山の純系の額

角の謎とその後の展開

丹羽信彰（京都大学理学部）

3. 高校生口頭発表部門

●兵庫県生物学会関係分

(1) クロゴキブリの角度変化による歩行方法の違い

（兵庫県立西脇高等学校）

(2) 切断されたエフィラが体の対称性を回復するメ

カニズム ～筋肉の動きに注目して～

（兵庫県立加古川東高等学校）

(3) ゴキブリの食の嗜好性

（兵庫県立長田高等学校）

(4) プラナリアはどのようにしてエサを見つけてい

るのか？

（兵庫県立宝塚北高等学校）

(5) クモは目的に応じて発する糸を変えて機能的な

巣を形成する

（兵庫県立姫路東高等学校）

(6) 篠山東雲高校周辺の野生動物

（兵庫県立篠山東雲高等学校）

●神戸大学サイエンスショップ関係分

(1) 東播磨における喜瀬川・新川池の形成史解明

～新川池における池干し実施期間の考察に向けて～

て～

- (兵庫県立加古川東高等学校自然科学部地学班)
- (2) 兵庫県南部姫路市ー加古川市の花崗閃緑岩の角閃石から波状累帯構造を発見
(兵庫県立姫路東高等学校科学部)
 - (3) 銀イオンに関する研究
(南山高等学校女子部)
 - (4) 食変光星YY Eriの研究
(金光学園高等学校)
 - (5) 過冷却状態になりやすい条件
(兵庫県立加古川東高等学校自然科学部物理班)
 - (6) 水面上の物体の反発・吸引についてー1円玉に着目してー
(兵庫県立加古川東高等学校(自然科学部物理班))
 - (7) 垂直軸型風車群の発電効率向上に向けた配置の検討
(兵庫県立加古川東高等学校課題研究風車班)
 - (8) 東条湖の神戸層群の比較～岩石の特徴から見る凝灰岩層の違い～
(兵庫県立西脇高等学校地学部化石班)

4. 高校生ポスター発表部門

●兵庫県生物学会関係分

- (1) 切断されたエフィラが体の対称性を回復するメカニズム ～筋肉の動きに注目して～
(兵庫県立加古川東高等学校)
- (2) ゴキブリの食の嗜好性
(兵庫県立長田高等学校)
- (3) プラナリアはどのようにしてエサを見つけているのか?
(兵庫県立宝塚北高等学校)
- (4) チャコウラナメクジによるキノコ胞子の運搬能力について
(兵庫県立加古川東高等学校)
- (5) クモは目的に応じて発する糸を変えて機能的な巣を形成する
(兵庫県立姫路東高等学校)
- (6) 海底湧水について
(京都府立海洋高等学校)
- (7) 瀬戸内海における海浜生物相調査
(岡山県立玉島高等学校)
- (8) 篠山東雲高校周辺の野生動物
(兵庫県立篠山東雲高等学校)
- (9) 牽引糸にかかるクモの脚の役割 (第3報)
(兵庫県立西脇高等学校)
- (10) 一般家庭における1年間に消費する魚の消化管に含まれるマイクロプラスチック
(神戸市立科学技術高等学校)

5. 兵庫県生物学会表彰

兵庫県生物学会長賞

・口頭発表部門

クモは目的に応じて発する糸を変えて機能的な巣を形成する

(兵庫県立姫路東高等学校)

・ポスター発表部門

瀬戸内海における海浜生物相調査

(岡山県立玉島高等学校)

上記2件以外の発表(神戸大学サイエンスショップ関係分は除く)には、奨励賞が授与されました。

なお、兵庫県生物学会関係の発表を行った県内の高校生(7校18名)には、本学会の安原昭江・杉田隆三記念生物研究助成金より交通費の支援を行いました。開催にあたって学会員の皆様のご支援、ご協力を頂き、盛会のうちに会を終えることができました。

(文責 稲葉浩介)

2020年度兵庫県生物学会研究発表会 高校生私の科学研究発表会 報告

日時：2020年11月23日(金・祝) 10:00～16:00

場所：Zoomによるオンライン開催

参加者数：89名(神戸大学サイエンスショップ調べ)

(内訳)

生物学会会員	7名(高校教員は除く)
高校教員	13名
高校生	58名
大学関係者	11名(うち学生8名)
その他	3名

参加高校数は13校で、府県別では兵庫県8校、大阪府3校、岡山県2校でした。

プログラム：

1. 兵庫県生物学会 会長挨拶
会長 工 義尚

2. 兵庫県生物学会会員発表

オンライン開催による新規発表形態のため取り止め

3. 高校生口頭発表部門

●兵庫県生物学会関係分

- (1) 水平円網を張るクモの頭部の向き
(兵庫県立西脇高等学校)
- (2) 壁面の材質変化によるクロゴキブリの歩行方法の違い
(兵庫県立西脇高等学校)
- (3) 定量的調査によるクマムシ類の生息分布状況の解明
(姫路市立姫路高等学校)